



# 潟小だより

上越市立大潟町小学校

E-mail ohgata-e@jorne.or.jp

令和7年2月12日

## 後期学校評価アンケートを受けて

ご多用の中、学校評価アンケートへご回答くださり、誠にありがとうございました。遅くなりましたが、結果と改善策等についてお知らせします。



### 【児童アンケート】

■ そう思う    ■ だいたいそう思う    ■ あまりそう思わない    ■ そう思わない

① 学校に、来るのが  
楽しい



② クラスやJチームの  
活動では、仲良く助  
け合っている



③ 相手のことを思いや  
る、やさしい言葉を  
使っている



④ 授業中、先生や友達  
の話を、しっかり聞い  
ている



⑤ 授業中、自分の考え  
をノートやワークシ  
ートに書いたり、友達  
に伝えたりしている



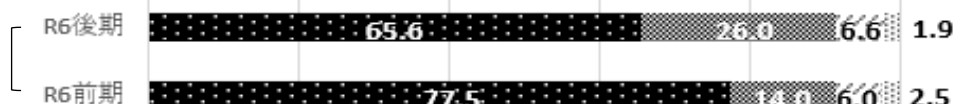
⑥ 授業が分かる



⑦ 家で学年×10分以  
上、家庭学習（宿  
題、自主学習、読書  
など）をしている



⑧ 体を動かすこと（運  
動や外遊び）や体  
育の授業が好きだ



⑨ 早寝・早起き・朝ご  
はんを守って、元気  
に過ごしている



⑩ 家族で決めたメディ  
ア（ゲームや動画）  
などの約束を守って  
いる

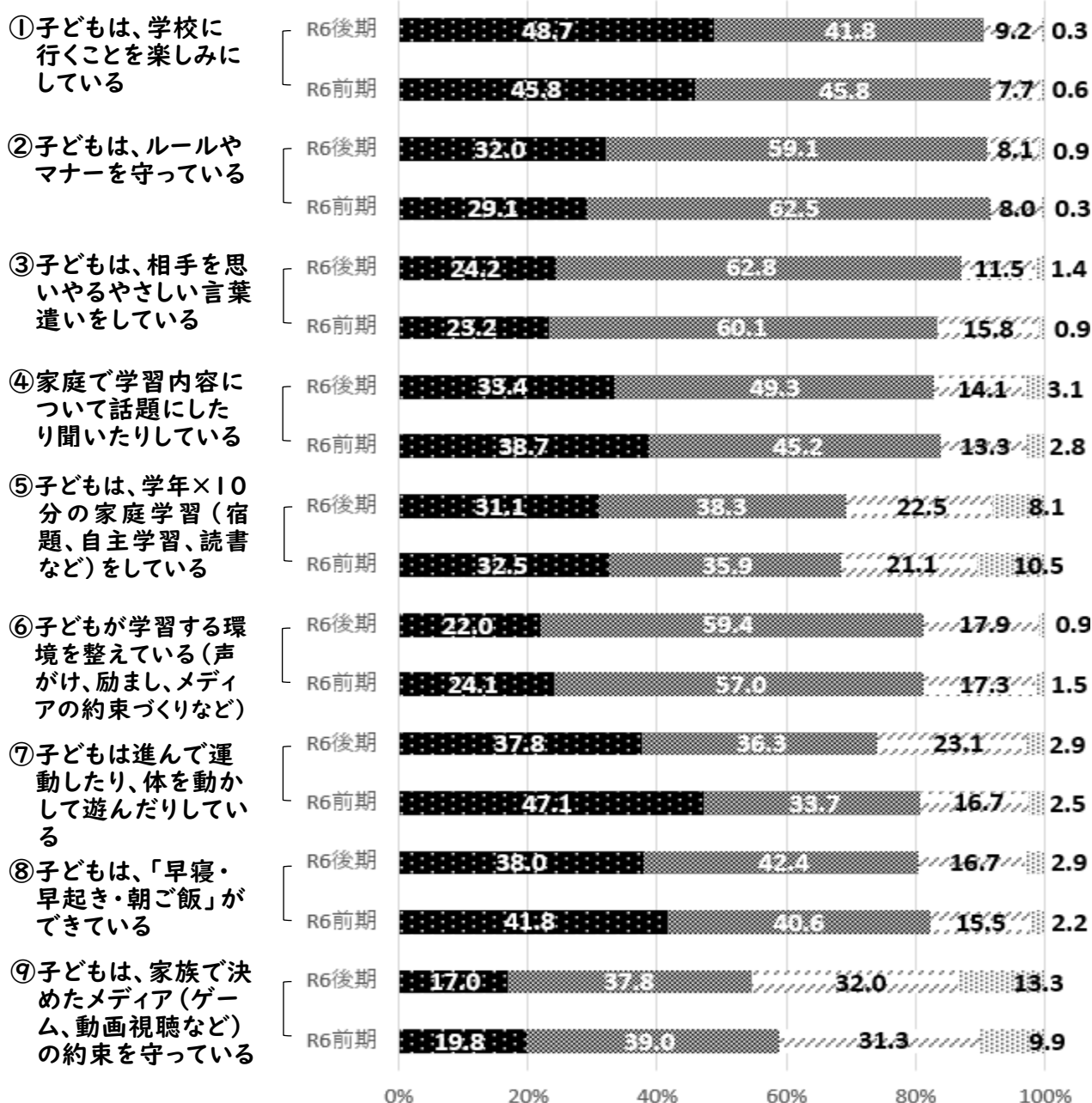


0% 20% 40% 60% 80% 100%

## 【保護者アンケート】

(保護者回答率 (91.8%))

■ そう思う   ■ だいたいそう思う   □ あまりそう思わない   □ そう思わない



### 課題の「言葉遣い」は改善傾向、「メディア接触」は悪化

まず、前期(昨年度)からの課題の1つの「言葉遣い」についてみていきます。肯定的評価を前期と比較すると、児童アンケート③(相手を思いやる優しい言葉を使っている)は+1.9 ㊦、保護者アンケート③(子どもは、相手を思いやる優しい言葉を使っている)は+3.8 ㊦と、若干ですが改善しました。



子ども自身が気を付け、学級・学年でも取り組み、学校も総務・生活・JRC委員会が共同で「しあわせプロジェクト」を行うなど、全校体制で取り組んできました。さらに保護者・地域の皆様のご協力もあり、改善されたと考えています。

また、児童アンケート②(クラスやJチームの活動では仲良く助け合っている)も+3.3 ㊦向上しました。少しずつですが、教育目標の「幸せな学校」に近付いています。

一方、保護者アンケートの自由記述には、次のようなことがありました。

・身体的なからかいや、印象を悪くする嘘、文字や制作物等への心ないダメ出し等、子どもから「〇〇と言われた」という話を聞くことがある。言う方は軽い気持ちかもしれないが、そういうことを言われてうれしい人はいない。人の気持ちを考え、お互いを大事にできるようになってほしい。

学校では、嫌なことを言われた子どもの気持ちを、言った子どもに伝え、どうすればよかったのかを一緒に考えながら、思いやる心を育むように取り組んでいます。嫌な気持ちになる子どもがいなくなるよう、今後も取り組んでまいります。

次に、課題の2つめの「メディア接触」についてはどうでしょう。児童アンケート⑩（家族で決めた約束を守っている）は－3.4 ㊦、保護者アンケート⑨（家族で決めた約束を守っている）は－4.1 ㊦と数値は下がっています。



また、児童アンケート⑨（早寝・早起き・朝ご飯を守って元気に過ごす）は－5.1 ㊦、保護者アンケート⑧（早寝・早起き・朝ご飯ができています）も－1.9 ㊦とこちらも下がっています。

さらに、児童アンケート⑦（学年×10分以上の家庭学習をしている）も、－7.6 ㊦と大きく（後期アンケートの中で最大）下がりました。

どうやら、メディアとの接触時間が長い分、早寝・早起き・朝ご飯が守られず、元気に過ごせなくなり、家庭学習が疎かになっている子どもがいるようです。

そして、そのような状態で学校に来るのですから、児童アンケート⑥（授業がわかる）も－1.4 ㊦と下がっています（「そう思う」という強い肯定は－7.2 ㊦）。

メディアに関して、保護者アンケートには、次の自由記述がありました。

・行き過ぎたメディア視聴に対して注意はするものの、取り上げることもせずにいる。親子で話し合い、約束を決めて取り組みたい。  
・冬は外で体を動かす機会が少なく、ゲームに触れる時間が長くなりがち。今一度ルールを確認する時間を家庭でもとりたいと思う。

メディアに関しては、まずはお子さんと一緒にルールを決め、定期的にルールを確認することが大切と言われています。これは、お子さんのよりよい家庭生活や健全な心身の成長に必要不可欠です。また、メディアを話題に親子で「話し合う」というかわりもとても大切です。



全てをメディアのせいにするつもりはありません。しかし、今一度、お子さんのメディアを含めた家庭生活について、見直してみてもいいかもしれません。

「大湯元気アップ週間」が終わった今、“我が家の取組”を振り返り、子どもの今後を考えて具体的な改善を図っていただければ幸いです。

なお、児童アンケート⑥（授業がわかる）と児童アンケート⑦（学年×10分以上の家庭学習をしている）については、学校職員も改善を図っています。よりわかる授業を行えるよう、互いの授業を公開・参観し、学級経営を基盤とした授業技術を磨き合っています。また、学期が進むにつれ、学習は難しくなるので、まず既習の学習内容

を想起するようにし、それと新しい学習内容を関連付けるように焦点化することで、子どもの理解をつなげ、広げています。

家庭学習については、先日、「家庭学習の手引き」を配付したように、全学年で取り組んでいます。授業と家庭学習が連動し、子どもがやる気を出せるように工夫します。例えば、授業中に宿題の①（最初の問題）を解きます。①が解ければ、子どもは「わかった・できた」と小さな成功体験をします。そうして帰宅した子どもは、宿題へのハードルが下がって宿題に取り組みやすくなるでしょう。宿題や自学を確実に行うことで、さらに理解が深まり、確実な定着につながる姿を期待しています。



3 学期も保護者の皆様と連携しながら、子どもたちがより成長できるように取り組んでまいります。また、それと並行して、来年度の教育課程も検討していきます。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

## 【保護者アンケート 自由記述から】 ※全体にかかわるご意見を中心に抜粋

- ・子どもから、給食がおいしく、献立も毎回工夫されているとよく聞く。給食だよりからも、地産地消が行われていることがわかる。給食で、「郷土愛と食育がなされている」と感じる。
- ・予算、日程的に厳しいかもしれないが、保護者への給食試食会を検討してほしい。限られた予算の中で工夫を凝らした献立が考えられていて、手作りでできたての給食が提供されていることがいかに素晴らしいことかを知るよい機会になると思う。試食会が厳しいようであれば、お便りだけでは伝わらないと思うので、参観日の時にでも映像を用いた説明会をしてもらいたい。

⇒ 11月15日（金）に行われた「学校給食運営協議会」では、給食委託業者の（株）クックライフの方や市教委（学校給食係）の他に、PTA幹事や各学年委員の皆様からも参加していただき、試食していただきました。その時に参加された保護者の皆様からも、上記の上段のようなご指摘をたくさんいただきました。

⇒ 今年度、1年生の親子PTCでは給食試食会を行いました。食器の数に限りがあるので、他学年が給食を食べない（例えば、6年生が修学旅行、5年生が自然教室で不在等の）日にしか実施できませんが、来年度の学年委員さんにはご検討ください。



・前校長の時に、「時間を自分で管理する」という目的でチャイムがなくなった。その後、子どもたちの変化はどうか気になる。 6年生教室の扉に貼っている約束⇒

⇒ 一人一人が時計を見ながら5分前行動をしたり、友だち同士で声を掛け合ったりして、みんなで集合時刻に遅れないように取り組んでいます。チャイムが鳴ってから動くのではなく、自分で（自分たちで）時計を見て、考えて行動する態度はとても素晴らしいと思います。

※放送委員会も、月・水・金曜日のお昼休みには、「後5分で清掃が始まります・・・」と放送を入れることで、行動を促しています。



・夏場の登校で高学年の子たちは、ランドセルではなくリュックで登校していたようだが、低学年の子ほど重たいランドセルより軽いリュックの方がよいと思う。年々夏場の暑さも厳しくなってきたので、次年度には全学年リュックでの登校が認められると嬉しい。

・置き勉を容認してほしい。宿題や自学で使用しないのならただ持って帰ってきて、また持っていくだけ。バスや電車の子と違い、歩きの子だとタブレットもあるのでランドセルが重たく、負担が大きい。地区によりバス通学にしてほしいという声が毎年あるが、教育委員会の規定でできないというなら荷物を軽くするなどの面で歩きの子の負担を減らしてほしい。

⇒ 校外学習に出かける日にリュックで登校する時はありますが、原則、ランドセルで登校しています。

夏の厳しい暑さは承知しています。特に、夏休み明けは、暑さに加えて、学校のある生活にまだ体が慣れていないこともあり、より大変です。学校では、登下校中の休憩や、止まった水分補給の声掛けをしています。また、児童玄関にはミストを設置し、身体を冷やせるようにしています。

リュックは軽くてよいのですが、中にタブレットを入れた場合の取り扱いが難しい面（破損しないようにそっと置くなどの工夫が必要）もあります。来年度も、天候を考慮してよりよい登下校の仕方を考えてまいります。



⇒ 現在、理科や社会、音楽、図工等の教科では、原則、学校に教科書を置いています。

タブレットがあるために重くなるのは、全国の小中学生・高校生の共通の問題です。少しでも軽くなるよう今後も対応策を考えてまいります。

・授業中に本を読んだり、立ち上がったたり、授業の進行を妨げたり…という一部の子ども様子を耳にすると、他の児童への影響と先生のケアの面で心配になる。その対策等があるとよい。(例えば、その時間に空いている先生が各クラスの見回りをするなど)。

・授業に集中しづらいクラス的环境が不安だ。子供から話を聞くと、授業に遅れて来たり、本人は悪ふざけでやっていることかもしれないが、ちょっと度が過ぎたりしていると思うことがある。

・漢字の小テストの際、カンニングをしている子どもがいるようだ。先生は早く終わった子の丸つけをされていて気がついていないようだ。わからなくても自力でやっている子と、カンニングをしている子で成績が変わってくるのはどうかと思う。

⇒ 上記のような言動が見られた場合、学校ではまず、その子どもを含めてクラス全体でルール作りやルールの再確認をしています。また、本人と話し合い、改善策を一緒に考えています。さらに、保護者と連携しながら共に改善策を考えて取り組んでいます。

その時間に授業がない職員は、空いているわけではなく、他の業務を行っています。緊急時には学級に入ることはありますが、常時、クラスに入る・見回るのは難しい状況です。

今後も、子どもたち一人一人が、“自分がいる学級・学年は居心地がよい”と思えるように、保護者の皆様と連携しながら取り組んでまいります。

⇒ 1回のテストで成績が決まることはありません。カンニングをしても覚えていなければ次回は書けません。ドリル等の宿題でも、答えを写して提出するような、「とりあえず終わらせよう」という気持ちを正し、自分のために学習する意欲を高めていきたいと考えております。ご家庭でも、そのような姿が見られたら、諭していただければありがたいです。

- ・4月の総会は、4年連続で第3金曜日開催なので、来年度は違う曜日でお願いしたい。
- ・年間行事ではない行事(持久走、つむぎちゃんのお別れ会等)のお知らせが急すぎる。仕事を調整できず行きたくても行けなくなってしまうので、もう少し早い段階で知らせてほしい。
- ・校内記録会の見学のお知らせは、学年によってばらつきがある。できれば、統一してほしい。
- ・チャレンジテストは年間予定に記載されているが、変更がある時は知らせてほしい。
- ・一斉下校等、下校時刻が分かりにくい。学年ごとに明確に下校時刻を連絡してほしい。行事等(遠足等)の中止になった際の持ち物、服装についての連絡を分かりやすくしてほしい。学年ごとに連絡の仕方が違うようなので全校で統一してほしい。
- ・遠足の際に、服装について説明がなかった。1年生なので、通例や習慣等わからない。お便り等で知らせてほしい。その他の行事についても、丁寧な案内をお願いしたい。

⇒ 遅かったり、わかりにくかったり、丁寧さに欠けたりして、ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

⇒ コロナ禍以前には、4月の総会(学習参観日)の後、PTA主催の歓送迎会が行われていました。よって、金曜日開催が慣例となっていました。現在、歓送迎会は行っておりませんし、参観日の曜日の偏りがあったのも事実ですので、来年度は解消すべく計画立案中です。ただし、休み明けの月・火曜日は避ける予定です。



⇒ 持久走記録会は、各学年が行う体育の授業ですので、お知らせは学年ごとになります。できるだけ早めに立案し、お知らせしたいのですが、天気も考慮しなければいけません。記録会の期日は、その前に何回か走ってから決定します。これも天候の影響を受けます。ですので、お知らせが遅くなってしまう場合があることをご理解ください。

⇒ チャレンジテストの変更は、学年だより等でお知らせしております。ご確認ください。

⇒ 一斉下校を含む大きな行事等がある場合は、行事の案内の中に下校時刻を記載しています。また、HPでも下校時刻を紹介しておりますので、ご確認ください。

⇒ 1年生の遠足については、事前に学年だよりでお知らせしました。遠足に限らず、準備や持ち物等で不明な点がございましたら、担任にお問い合わせください。

- ・Jチームの男女比を考えてほしい。昨年度は、女子が多くいる中の男子になり、女子同士で固まってしまう、公園で遊んだと言っていた。せっかくの遠足なのに切ない思いをしている子もいたことを知ってほしい。

⇒ Jチームは、10名を目安に編成しています。男女については、男女差が7名ある学年もあるので、同数編成は難しいのが現状です。よって、多くても2人差、つまり、4人と6人になるように構成しています。

学校では、Jチームごとに全員で楽しく遊べるように、事前に遊び場や遊ぶ内容、持ち物等を話し合う場を設定するなどして取り組んでいます。

なお、6年生等は、昼休みに男女一緒に鬼ごっこやドッジボール等をして遊んでいます。男女の隔てなく、共に活動していけるように、今後も力を入れていきたいと考えています。



・iPad をもう少し有効活用して欲しい。先生によって差があるように感じる。プログラミングやタイピング等、今から身につけられる事も多いと思う。また、悪天候が多くなる時期なので、休み時間等にルールを守ってタイピングや教育的ゲーム等、できるようにしたらどうか。

⇒ iPad の活用について、学校・教師間格差はあるのは事実です（多くの市町村・学校で課題となっています）。当校では、使いこなしている教職員から活用方法等を学びながら、全校で有効活用できるように取り組んでいるところです。



なお、プログラミングは、指導事項（児童がプログラミングを体験しながら、論理的思考力を身に付ける）なので、教科等の学習を通して取り組んでいます。（理科や算数の教科書にも載っているので、3月までには学習します）。

⇒ タイピングについてですが、文科省もローマ字を学習する3年生から、正しい指使いでの文字入力（タッチタイプ）を奨励しています。そして、高学年では、1分間に10～20文字の入力という指針を示しています。子どもはすぐに上達します。実際、6年生は、卒業文集はタイピングで行いました。これからも学習の中で活用し、タイピングの技術習得にも取り組んでまいります。

⇒ 休み時間のタブレットの使用については、現在、学習で使用する目的で、教師が許可した時のみ使用可としています。しかし、残念ながら、ルールを守らずに遊び道具として使用してしまう子どもがいるため、休み時間に自由に使うことはしておりません。

⇒ 冬期間の教室には、ウノやジェンガ、トランプ、カルタ、百人一首等が各学級に置かれています（学年によって物は異なります）。外で遊べず、体育館が使えない時（全校一斉に使用した場合、混雑でのけがの発生を防ぐため、学年ごとに使用曜日・時間帯が決められています）は、教室などでアナログの遊びを楽しんでいます。また、教室や渡り廊下で縄跳びをして体を動かしている過ごす子どももいます。



・学校は、換気不足を感じた。外気を全く取り込んでいない。休み時間に窓も開けていないので校内に吐き出しているのみ。これでは、ウイルスがまん延する。廊下・教室内の外気の取り込みを行うなど、基本的な感染拡大予防を徹底してほしい。

・感染症が出始めたらなるべく早目に教えてほしい。知っていれば、受診した時、その病気の検査ができる。学級閉鎖になるころには蔓延しているので、閉鎖しても遅いような気がする。

⇒ 手洗い・うがい、マスク着用と同様に、換気はとても効果が高い予防法です。学校では、常時喚起と休み時間ごとの換気を原則として行うようにしています。しかし、窓、特に廊下（海）側の窓は、強風の時は、開けるとそこから雨水が入り、廊下にかけていた雨具や体育着袋が濡れたり、廊下が水浸しになったりすることがよくあり、換気を行いにくい時があります。



昼休みは、保健委員会が「換気の時間です。窓を2か所開けましょう」と言って、音楽を流して換気を呼びかけています。状況に応じて、今後も換気を励行していきます。

なお、学校では、法令に基づき、定期的に学校薬剤師さんから来ていただき、教室の換気や湿度の検査を受けています。毎回、「適正に管理されている」とコメントをいただいています。（その他にも、採光や黒板面の色彩、学校給食の衛生管理、理科室の薬品管理、水道水の水質、ダニまたはダニアレルゲン等の検査もしていただいています）

⇒ 過日の学級閉鎖の時は、インフルエンザが主流でしたが、学級内で一人だけ、コロナや溶連菌、マイコプラズマ、ヒトメタニューモウイルス等に感染する子どももいました。医師から聞かれることがあるかとは思いますが、症状から判断して、それに該当する検査をしていただければと考えています。

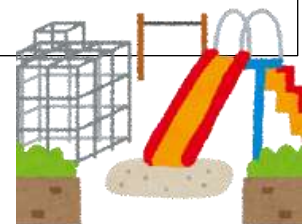
⇒ 学級閉鎖は、さらなる感染拡大を防ぎ、子どもの健康を守ることが目的の措置です。ご指摘のように、事前に注意喚起をすればよいのですが、当日の朝の健康観察時に、多数の感染者がいることがわかり、校医の指導を受け、市教委と相談して、急遽、閉鎖を決定するケースが多くあります。早めの情報提供を行えるよう、今後、注意喚起の基準や方法を考えていきます。

余談ですが、現在、インフルエンザで腹痛を訴える人が増加しているそうです。ご注意ください。

・保育園の時から遠足は水と森公園であり、また休日も行く機会も多い中、小学校でもとなると子供たちはすでに飽きています。他校では、妙高市に出向いたりしています。より多くの経験や体験が必要かと思う。

・授業や遠足で水と森公園に行っていますが、いつも同じ場所ではなく春日山城跡付近や大池等近隣で行けそうな所が沢山あるので候補に入れてほしい。自分自身辛い思い出しかないが、米山登山を復活してほしい。今となってはいい思い出となっている。

⇒ 例えば、高田城址公園の近くの複数の学校では、学年を問わず頻繁に高田城址公園に行きます。他の学校も同様に、適切な学ぶ場所には定期的に行っています。学校が行き先として選択するのは、距離もありますが、学ぶ場所にふさわしいかどうかです。例えば、4年生は、



理科の学習（「温かさと生き物」４）で、生き物の四季それぞれの姿の変化を子どもが実感するために、水と森公園に定期的に行っています。このような素晴らしい学ぶ場所に繰り返し行けることは、他校から見ればうらやましがられることでしょう。

⇒ 遠足については、児童数の少ない学校であれば、電車やバス等の交通手段を利用して、様々なところに行けるかもしれません。しかし、当校の規模からすると、トイレの場所の確保を含めて、それらの場所は難しい面があります。また、今は昔と違って、“安全”が最優先されます。様々な場所は候補には挙がります。しかし、学年ごとではなく、Ｊチームごとに行くため、低学年も安全に歩ける場所となると、本当に限られてしまいます。

ご家族でも行ったことがある場所かもしれませんが、学年の仲間と一緒に行って学習する、また、Ｊチームのメンバーと一緒に行って活動する・・・ということは、別の学びがあることをご理解いただければありがたいです。

|   | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 |   |   |   |   |   |   |   |
| 2 |   |   |   |   |   |   |   |
| 3 |   |   |   |   |   |   |   |
| 4 |   |   |   |   |   |   |   |
| 5 |   |   |   |   |   |   |   |
| 6 |   |   |   |   |   |   |   |

・週予定を出していただくことを希望する。

⇒ どの学年も４月に時間割表を配付しています。ただ、学年（子ども）の実態によって、次週の予定のお知らせ方法は異なります。毎週末に紙で予定表を配付している学年もあれば、配付していない学年もあります。低学年は、教科書を持ってくる教科は国語と算数しかないので、変更がある場合のみ、おたよりや連絡帳でお知らせしています。クラスルームで配信したり、教室に週予定を掲示し、必要と判断した子どもがタブレットで撮影したりしている学年があります。お困りであれば、担任にお話してください。

・友達とのトラブルがあったら、可能な限り保護者にも情報共有をして頂けると安心できる。  
・働き方改革で、先生方の負担は少なくなっているのだろうか。保護者をどんどん巻き込んでいただき、保護者が協力することで、先生方の負担が少なくなり、元気に過ごしていただけたら、子どもたちもうれしいと思う。保護者に任せられることは、話していただき、「先生、子ども、保護者、みんなが元気に楽しく過ごせるようになったらいいなあ」と思っている。先生方は身体に気をつけて過ごしてほしい。  
・学校は、毎日、夜遅くまで学校の電気がついている。もう少し早く帰れるようにできないでしょうか。しっかり休むことも大事。

⇒ トラブルがあった際は、関係の子どもに聞き取り、その日のうちに互いが納得できる解決をめざしています。また、そのことを家庭にも連絡して、家庭と学校の双方で共通に見守る対応が取れるようにしております。

⇒ 情報については、学校だけで留めず、よいこと（よくないこと）を隠さずに双方にお伝えしています。一緒に喜んだり、一緒に悩んだりしながら、子どもを真ん中に、同じ方向性や対応策等を確認しながら支援していきたいと思っております。

⇒ 「働き方改革」は、教師のためもありますが、ご指摘のように、最終的には子どものためと考えています。早く帰ることだけが目的ではありませんが、心身ともに健康な状態が、よりよい授業や、子どもの話をじっくり・ゆっくり聴ける心の余裕につながります。保護者の皆様のご理解とご協力を得ながら、今後も対策を講じていきたいと考えております。

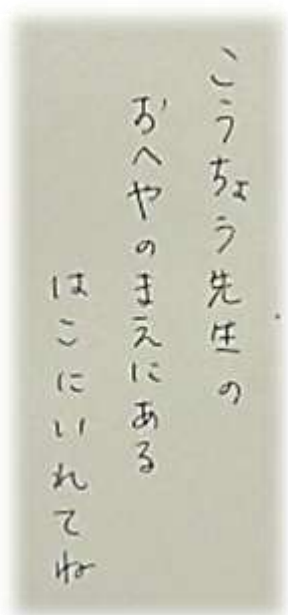
いただいた意見について、上記のように改善策等をお示しました。また、今回掲載したもの以外にも意見をいただきました。回答がほしい方は、学校にご連絡ください。

皆様の意見を基にさらに改善を図り、より“幸せな学校”になるように努めてまいります。

## 体罰等のアンケート

おいそがしい中、体罰等のアンケートをお出しくださり、ありがとうございました。右のようなメッセージが書かれた古封筒が何通もありました。きっと、渡すときに、親子で微笑ましい会話があったことでしょう。

投函する姿を見ていると、子どもたちは、「箱（段ボールで作ったポスト）に古封筒を入れる」という“お仕事”を楽しんでいるようでした。



## ブックトーク

1月20（月）、21日（火）、24日（金）の3日間、上越市立直江津図書館の方々からお越しいただき、ブックトークをしていただきました（うれしいことに、お一人は当校の卒業生）。興味深い本をたくさん持って来て紹介してくださいました。

各学年は、持って来ていただいたりした本をしばらくお借りして廊下に置き、自由に読めるようにしています。

